

# 都留市地名考 その四

窪田 薫

羽根子

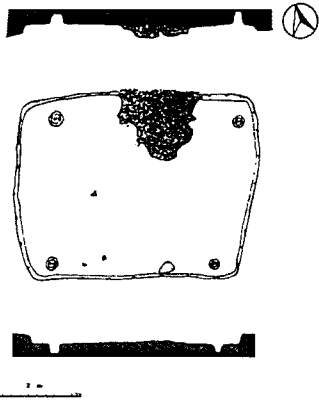
『地名語源辞典』に、「はね  
〔羽根(地名用語)〕羽根は宛字  
で、鳥の羽根などという意味はな  
く、ハニ(埴・粘土)のなまりで、  
粘土質の土地の地名に使われる語  
である。ハニの方が古い語だから、  
古い文化の近畿地方にはハニの地  
名が多く、ハネはおくれて開けた  
地方に多い。赤埴も同意の宛字で  
ある」と記されている。

付表

遺跡名	場所	年代	調査年月	住居の大きさ・構造
堀之内原	小形山	奈良 平安	昭和53・10	住居址、広サ 大、三十六平方メートル 小、十六平方メートルの方 形
牛石厚原	奈良 平安	昭和54・4		広サ 大、六十四平方メートル 小、四平方メートルの方形
中谷	小形山	奈良 昭和54・8		広サ 十六平方メートルの方形

備考  
一、住居は竪穴式で、一般庶民の住居の広さは、平均二十二平方メートル(六坪)くらいである。  
二、全般に入口は南側に、カマドは北側にあり、煙穴がついている。

## 第1号住居址



プラン：方形  
規模：東辺 4.4 m  
西辺 4.3 m  
南辺 5.1 m  
北辺 5.5 m  
床面積 約22㎡  
(6坪)  
床 ほぼ平坦で、カマド近辺は固く踏み固められている。  
カマド 詳細は不明であるが粘土のみで構築されている。

堀之内原遺跡第一号住居址 (平安時代)

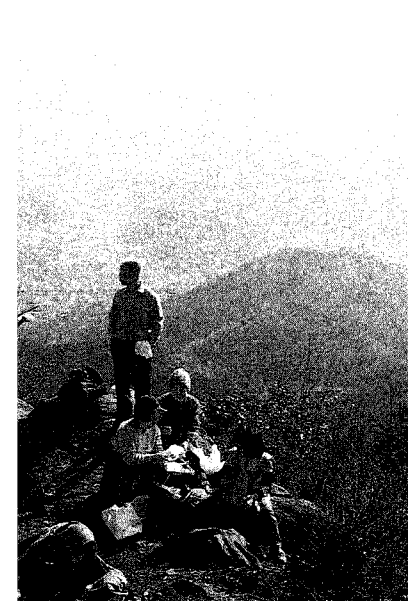
都留市では粘土質の土地の地名に、羽根子(下谷)、赤羽根(小野)、マカド(眞赤土・小形山)などがあげられる。  
下谷羽根子の集落から西南方桂川を隔てた対岸の台地は厚原である。この「都留市厚原牛石遺跡」は昭和五十四年四月から発掘調査が行われ、縄文・弥生・奈良・平安時代の遺構・遺物が発見された。縄文時代は竪穴式住居址の中央にイロリが設けられたものが、平

安時代には粘土で造られたカマドが住居の側壁に造られてある。小形山の堀之内原遺跡も同様で、前者は羽根子の、後者は遺跡近くのマカドの粘土が用いられたと考えられる。  
数年前、羽根子の農家の軒に、大工が柱などに使用するトノコ(粘土)が積んであった。  
縄文から奈良・平安時代にいたる約二千年の経過のなかで、庶民の竪穴式住居は、中央にあったイロリから側壁のカマドにかわっただけで、庶民の生活文化が遅々として向上しなかったことは、ただ驚くばかりである。

## ふるさとを山の上から眺めてみませんか

### 高川山登山会実施

富士山や回りのすばらしい景色が、三百六十度展望でき、登山しやすい山として、首都圏のハイカーやシルパー登山者に高川山が人気を集めています。



山頂には狼煙台跡もあり、休日になると多くの登山者で賑わいを見せます。さながらラッシュアワーのようです。  
この地元の「名山」高川山や、自然に親しんでいたため、登山会を次により実施します。

指導員もおりますので安心してご参加いただけるものと思います。今を盛りながらの登山も楽しいものです。  
日時 5月10日(日)  
午前8時30分  
午後3時解散予定  
(雨天の場合5月17日に延期)

## ふるさとの祭



- 5日 石船神社例祭 朝日馬場 端午の節句 市内各地
- 10日 金毘羅神社竣工祭及び大祭 金毘羅社(上天神町) 花まつり 耕雲院
- 13日 儀秀稲荷大祭 西涼寺
- 16日 鐘楼堂落慶記念式典及び観音さま例祭(稚児行列がある) 長安寺
- 17日 つる子どもまつり 都留文科大
- 28日 鬼子母神祭 信行寺

持参していただくもの  
昼食・水筒・雨具・保険  
代一〇〇円  
定員 30名  
締切日 5月7日(木)  
申込・問合先  
尾県郷土資料館  
☎(45)0675  
(火・木・土・日・祝日  
午前10時~午後4時)  
市教育委員会 社会教育課